

令和 5 年版 環境白書（環境に関する年次報告）の概要

1 年次報告の構成

本書は 2 部構成で、第 5 次環境基本計画（計画期間：令和 3 年～令和 7 年度）の施策体系に沿った構成としている。

施策の進捗状況を把握するため、目標に対する指標とその達成率を記載している。

構成	項目	内容
第 1 部	広島県の環境政策	環境問題の推移、環境政策の方向性
第 2 部	環境の現状と県の取組	—
第 1 章	ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進	省エネルギー対策等の推進、再生可能エネルギーの導入促進、カーボンサイクルの推進、気候変動を見据えた適応策の推進
第 2 章	循環型社会の実現	資源循環サイクルを拡大させた社会づくり、適正かつ効率的・安定的な廃棄物処理を支える社会づくり
第 3 章	地域環境の保全	良好な大気環境の確保、健全な水環境の保全・管理、化学物質による健康リスクの低減・土壌環境の保全、プラスチックごみの海洋流出防止対策、地域環境の維持・向上
第 4 章	自然環境と生物多様性の保全	自然資源の持続可能な利用、生態系の健全な維持管理
第 5 章	環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」	環境学習・自主的な環境活動等の推進、環境関連産業の振興、環境配慮の仕組みづくり
付 録	第 5 次環境基本計画における指標及びその進捗状況、環境関連事業費 等	

2 指標の達成状況

分野	計	達成 (達成率90%以上)	未達成 (達成率90%未満)	その他※
第 1 章「ネット・ゼロカーボン社会の実現」	20	13	2	5
第 2 章「循環型社会の実現」	11	11	0	0
第 3 章「地域環境の保全」	30	29	1	0
第 4 章「自然環境と生物多様性の保全」	10	6	2	2
第 5 章「人づくり・仕組みづくり」	8	7	0	1
計	79	66	5	8

※ 「その他」は、進捗状況を途中年度で評価することが難しく、最終年度に評価することとしている指標

- 目標を達成もしくは概ね達成となっている 79 項目中 66 項目については、引き続き、現状の水準を維持・向上できるよう、効果的な施策を実施していく。
- 未達成の 5 項目については、その要因分析をして、目標達成のために必要な見直し等を検討し、順次取り組んでいくこととしている。

3 分野別の概要

(1) ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けた地球温暖化対策の推進 (P5～)

○ 県内の二酸化炭素排出状況

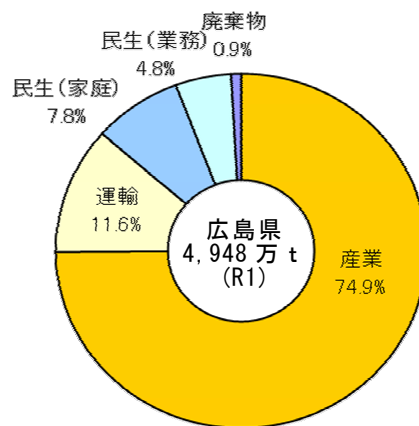
本県の令和元年度の二酸化炭素排出量は、第3次広島県地球温暖化防止地域計画の基準年度である平成25年度に比べて13.7%減少している。部門別の状況を見ると、産業部門からの排出量が3,706万トンで、県全体の74.9%と最も大きな割合を占めている。

目標指標の達成状況については、産業部門・運輸部門・民生（家庭）部門の排出量のいずれも目標を達成している。

2050年ネット・ゼロカーボン社会の実現に向けては、さらなる削減対策が必要であり、昨年度から体制を強化した「広島県地球環境対策推進会議」において、省エネや再エネの推進とともに、カーボンサイクル等の取組を進め、環境と経済の好循環を図っていく。

二酸化炭素排出量と削減率（令和元年度）

区分	H25 基準年度 (万 t-CO ₂)	R1 実績 (万 t-CO ₂)	H25 からの 削減率 (%)
広島県	5,736	4,948	▲13.7



【主な目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値	現状値 (R4)	目標値 ^{※3} (目標年度(R7))	目安 ^{※1}	指標達成率 ^{※2}	進捗状況
二酸化炭素排出量 (産業)	万 t-CO ₂	4,094 (H25)	3,706 (R1)	3,531	3,813	102.8%	概ね達成
				3,100	3,597	97.0%	
二酸化炭素排出量 (運輸)	万 t-CO ₂	613 (H25)	575 (R1)	547	580	100.9%	概ね達成
				518	566	98.4	
二酸化炭素排出量 (民生(家庭))	万 t-CO ₂	579 (H25)	385 (R1)	449	514	125.1%	目標どおり 達成
				344	462	116.7%	
二酸化炭素排出量 (民生(業務))	万 t-CO ₂	405 (H25)	240 (R1)	309	357	132.8%	目標以上 達成
				215	310	122.6%	
太陽光発電設備導入量	千 kW	1,359 (R1)	1,680 (R3)	1,669	1,462	114.9%	目標どおり 達成

※1 目安は、目標値を現状で達成すべき水準に按分した数値

※2 指標達成率は、「目安」と「現状値」の比

※3 目標値は、「広島県地球温暖化防止地域計画」に定める目標であり、上段が R5.3 月改定前の目標値、下段が改定後の目標値

(2) 循環型社会の実現 (P31～)

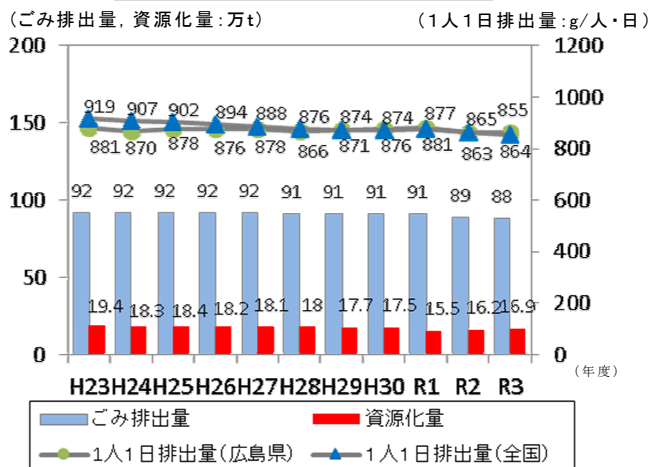
○ 廃棄物の排出状況

本県の令和3年度の一般廃棄物排出量は89.5万t、産業廃棄物排出量は1,317万tであり、ともに目標どおり達成した。

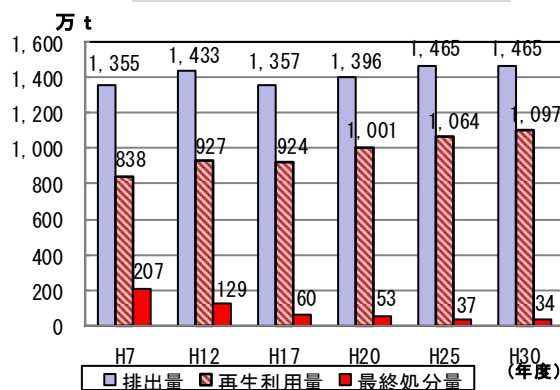
また、産業廃棄物の不法投棄(投棄量10t以上の事案)は、目標の2件以下に対して発生はなく目標を達成した。

引き続き、従来の不法投棄防止のための取組に加え、電子マニフェストの普及促進による廃棄物トレーサビリティの強化、人工衛星の解析技術を活用した監視システムによる監視の高度化等によって不法投棄の未然防止に取り組んでいく。

一般廃棄物の排出量の推移



産業廃棄物の排出量の推移



※5年毎に行う「産業廃棄物処理実態調査」の結果を基に算定
令和2年度の値は補完調査により算定したもの

○ 電子マニフェストの普及

本県では、デジタル技術を活用した資源循環の促進に向けて、マニフェスト(産業廃棄物管理票)の電子化を進めており、令和4年度普及率は61.2%で令和4年度目標を概ね達成している。

今後は令和7年度目標の普及率80%達成に向けて、排出事業者・収集運搬業者・処分業者の3者における普及拡大に取り組み、廃棄物トレーサビリティの強化を推進していく。

【主な目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値(R1)	現状値(R4)	目標値(R7)	目安	指標達成率	進捗状況
一般廃棄物排出量	万t	92.9 (H30)	89.5 (R3)	89.1	91.3	102.0%	目標どおり達成
一般廃棄物最終処分量	%	12.7 (H30)	10.7 (R3)	12.2	12.5	116.8%	目標どおり達成
産業廃棄物排出量	万t	1,465 (H30)	1,317 (R3)	1,453	1,460	110.9%	目標どおり達成
産業廃棄物の不法投棄件数(投棄量10t以上)	件	2.6 (H27~R1平均)	0	2	2.4	100%	目標どおり達成
電子マニフェスト普及率	%	51.5 (H30)	61.2	80.0	67.8	90.3%	概ね達成

(3) 地域環境の保全 (P52～)

○ 大気汚染物質等の環境基準達成状況

本県では、11市3町に設置した37局の大気測定局における常時監視システムにより、大気汚染状況を常時監視している。令和4年度の測定では、二酸化硫黄や二酸化窒素などの大気汚染物質は、全ての測定局において環境基準に適合するなど、ばい煙を発生する事業場への立入検査等の監視・指導等により、大気汚染物質指標の目標を全て達成しており、良好な大気環境が確保されている状況である。

○ 公共用水域等の環境基準達成状況

本県では、河川 82 水域、海域 14 水域、湖沼 8 水域の公共用水域及び地下水において水質汚染状況を常時監視している。令和4年度の測定では、人の健康の保護に関係する有害物質については、全測定地点で環境基準を達成しており、健全な水質環境が維持されている状況である。

一方で、生活環境を保全する上で維持されることが望ましい基準として設定されている海域 COD 項目の環境基準達成率について、令和3年度と比較して達成率が上昇したものの、令和4年度目標は未達成となった。要因としては、県西部及び東部海域の水域における陸域(河川、工場、事業場等)や外海からの有機物の流入、内部生産等による COD 濃度上昇が考えられる。

今後は、広島県水質総量削減計画に基づき、工場・事業場等からの排水等について監視・指導を適切に実施するなど、汚濁発生源に係る対策を推進していく。

○ プラスチックごみの海洋流出防止対策

令和4年度に実施した県内海岸漂着物実態調査によると、県内海岸に漂着する約23tのごみのうち、3品目(ペットボトル、プラスチックボトル、レジ袋)の占める量は3.3tであり、令和4年度目標を達成した。

引き続き、2050年までに新たに瀬戸内海に流出するプラスチックごみの量をゼロにする「～みんなで守ろう、ミライへ、美しく恵み豊かな瀬戸内海を～2050輝くGREEN SEA 瀬戸内ひろしま宣言」の実現に向け、「GREEN SEA 瀬戸内ひろしま・プラットフォーム(略称「GSHIP(ジーシップ)」)」において、参画企業と連携した、ワンウェイプラスチックの削減やプラスチックの資源循環の拡大、高度化に向けたモデル事業の実施及び屋外回収拠点の多様化による流出防止モデル事業の実施など、海洋プラスチックごみ対策に取り組んでいく。

【主な目標指標の達成状況】

指標項目 (環境基準達成率)		単位	基準年度値 (R1)	現状値 (R4)	目標値 (R7)	目安	指標達成率	進捗状況
大気	二酸化窒素	%	100	100	100	100	100%	目標どおり達成
	浮遊粒子状物質		100	100	100	100	100%	目標どおり達成
水質	河川 BOD		92.7	92.7	環境基準の達成率の向上を図る	92.7	100%	目標どおり達成
	海域 COD		42.9	28.6		42.9	66.7%	未達成
	海域全窒素		88.9	88.9		88.9	100%	目標どおり達成
	海域全りん		100	100	100	100	100%	目標どおり達成
	地下水		81.6	92.0	環境基準の達成率の向上を図る	81.6	112.7%	目標どおり達成
ダイオキシン類環境基準達成率(大気・公共用水域・土壌)				100	100	100	100	100%
3品目(ペットボトル、プラスチックボトル、レジ袋)の海岸漂着物量		t	8.4	3.3	7.9	8.0	158.8%	目標以上達成

(4) 自然環境と生物多様性の保全 (P93～)

○ 自然資源の持続可能な利用

自然公園では、生物多様性の確保など自然環境の保護を図るとともに、県民が自然とふれ合う場として適正な利用を推進している。

自然公園利用者数は、近年のコロナ禍の影響から、利用者の約半数を占める宮島や三段峡など県内の主要観光地における利用者が回復しておらず、昨年度の実績は6,353千人と目標の約7割にとどまっている。

引き続き、自然とふれ合う場として、安全で快適な自然公園や野外レクリエーション施設を運営し、県民の皆様の利用促進や、自然環境保全や野生生物保護への理解を深めていく。

自然公園等の利用者数

(単位：千人)

区 分	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
国 立 公 園	7,732	8,032	7,089	7,367	3,524	3,062	4,286
国 定 公 園	1,039	995	918	870	595	619	649
県 立 自 然 公 園	503	521	357	423	426	408	417
その他野外レクリエーション施設*	1,031	1,062	952	981	677	847	1,003
合 計	10,305	10,610	9,316	9,641	5,222	4,936	6,353

※ その他野外レクリエーション施設：県民の森、もみのき森林公園、県民の浜、中央森林公園、中国自然歩道、県自然歩道

○ 生態系の健全な維持管理

県内に生息する1万6千種を超える野生生物のうち、絶滅のおそれのある希少な野生生物について、生息・生育状況等の現状を把握するとともに、野生生物に関する情報の提供を行うため、レッドリスト(絶滅のおそれの程度に応じて設定したカテゴリーに分類評価したリスト)に選定した種について取りまとめた「レッドデータブック」を令和4年3月に改定した。

引き続き、生物多様性保全の重要性への理解促進と、多様な主体の参画による保全活動を推進する。

絶滅のおそれのある野生生物の種の選定状況 (令和3年度)

分類群	県内 種数	カテゴリー別種数					選定 種数
		絶滅	絶滅危惧Ⅰ類	絶滅危惧Ⅱ類	準絶滅危 惧	情報不足 等	
種子植物・シダ植物	2,928	4	111	153	151	38	457
コケ植物	719	0	37	9	5	3	54
藻類	1,258	0	1	2	13	16	32
地衣植物	382	1	3	5	7	0	16
菌類	700	0	7	9	26	0	42
海藻類	約200	0	3	1	1	5	10
哺乳類	43	2	7	5	8	1	23
鳥類	302	1	6	9	17	14	47
爬虫類	16	0	0	1	4	0	5
両生類	19	0	1	8	4	1	14
魚類	548	2	9	9	21	16	57
昆虫類	8,318	15	43	48	89	36	231
貝類	708	16	40	25	22	27	130
その他無脊椎動物	412	0	4	4	21	14	43
合計	16,553	41	272	288	389	171	1,161

【主な目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値 (R1)	現状値 (R4)	目標値 (R7)	目安	指標達成率	進捗状況
自然公園利用者数	千人	9,642	6,353	基準年度値より増加	9,642	65.9%	未達成

(5) 環境負荷の少ない社会を支える「人づくり・仕組みづくり」(P106~)

○ 環境学習・環境活動の推進

県では、県民の自主的な環境保全活動を促進し参加機会の拡大を図るため、各地で行われている取組に関する情報提供や、地域で緑化活動や美化活動などを行っている団体等の活動支援、環境学習講師の派遣など、環境保全活動の拡大に向けた支援を行っている。

環境学習講師派遣学習会の受講者数については、令和4年度928人と目標値(700人)を上回っており、今後も感染防止対策を徹底した上での学習機会について情報発信する。

○ 環境配慮の仕組みづくり

環境問題に関心の深い企業や団体、行政などが連携して環境にやさしい地域づくりを協働して進めることなどを目的として設立されたひろしま地球環境フォーラム等と連携して、講演会やセミナー等を行った。

目標指標の達成状況については、「ひろしま地球環境フォーラム会員のうち、SDG sと関連付けて事業活動を行っている事業者の割合」「環境経営やSDG sに関するセミナー等受講事業者数」ともに目標を達成した。

環境に配慮した事業活動への要請は年々高まっており、引き続き事業者に対して、環境経営やSDG sについての情報発信を行い、連携して環境に配慮した取組を促進する。

【主な目標指標の達成状況】

指標項目(内容)	単位	基準年度値(R1)	現状値(R4)	目標値(R7)	目安	指標達成率	進捗状況
環境学習講師派遣学習会の受講者数	人	113(R2)	928	700	700	132.6%	目標以上達成
ひろしま地球環境フォーラム会員のうち、SDG sと関連付けて事業活動を行っている事業者の割合	%	29.7	57.8	75	52.4	110.3%	目標どおり達成
環境経営やSDG sに関するセミナー等受講事業者数	者	65(R2)	115	80	71	162.0%	目標以上達成